

# 生活保護 改悪 スツパ

私の思い

母子2人の家庭で、パートやバイトをかけたもちし昼も夜も働いて子どもを育てました。2年前に頸椎(けいつい)を傷めて体が動かず、働けなくなつて所持金も2万円だけに。生活費に困り、借

吉川洋子さん(60)＝大阪府摂津市＝

11/24旗



## 扶養照会 肩身狭い思い

金をしていたので、首をくくって死のうかと追いつめられました。窮状を伝え聞いた地元共産党の市議さんが、福祉事務所に同行してくれました。窓口の人の話は難しく、「申請」の意味も分からない私に、市議

さんが「申請の意思をしっかり伝えて」とアドバイスしてくれました。おかげで生活保護を利用でき、今は体調も回復して、週2回、掃除の仕事をしていきます。生活保護法が改悪されると、申請時に書類の提出を求められるなどハードルがさらに高くなり、親族の扶養義務も強化されます。

私の申請時も、6歳のときに離婚し再婚した母親や、そのとき別れた妹の所まで扶養照会がいきました。納得がいかず、肩身の狭い思いをしました。今でも、SOSの声をあげられない人がいっぱいいます。改悪されると、親族に迷惑をかけられないと、萎縮して相談にもいけない人が増え、孤立死する人がいっそう増えるのではないか。いてもたってもいられない気持ちです。